

平成積立金

設立規定

- ・この積立金は、日本学生ライフル射撃連盟北海道支部の会計が猶予ならざる状況にあると判断された場合、それを回避する手段として設立された平成基金を改正したものである。
- ・平成 26 年1月1日より施行される。

日本学生ライフル射撃連盟北海道支部積立金運営規則

1. 積立金は、検査器具の新規購入やその修理費、または普及事業等における出費等により、日本学生ライフル射撃連盟北海道支部(以下学連北海道支部)の会計に大きな打撃を与えると理事会において判断された場合にその負担を軽減するものとして使用される。
2. 理事会役員として理事長、副理事長、理事を設置する。
3. 理事長は学連北海道支部支部長が、副理事長は学連北海道支部幹事長が、理事は学連北海道支部のその他役員、加盟校主将がその任にあたる。役員は学連北海道支部規約に基づいたものである。
4. 理事長は理事会を招集し、その決定について責任を負う。
5. 副理事長は、理事長に代わり理事会を招集、決議することが出来る。その場合は、結果を理事長に対して報告し、承認を得なければならない。
6. 理事会は招集を不定期とし、その招集は理事長または副理事長が行えるものとする。
7. 理事会は、理事会役員の3分の2以上の出席を以ってその効力を持つ。なお、理事のうち役職を兼任しているものについては、役職の数をもって定数とすることができる。
8. 理事会役員が欠けた場合は、学連北海道支部で当該役員として新しく就任した者を後任とする。年度途中で加盟校主将が変更された場合も同様とする。

9. 出資金は学生連盟加盟年限に達する者の有志から募るものとし、出資金は一口 1 千円とする。
10. 学連北海道支部からは定期支部総会での会計報告における次年度繰越金の1%を目安に積み立てることとする。
11. 積立金は毎年 1 度、学連北海道支部総会において会計幹事より使用の有無、積立金の残高を報告する。
12. 積立金は学連北海道支部会計幹事が専用の口座で管理する。
13. 運営規則は、理事会の発議により学連北海道支部総会において出席者の3分の2以上の賛成を以って改正することが出来る。